



▲利根川決壊口からの濁流



▲旧栗橋町の浸水状況(現・久喜市)



▲東京都葛飾区の浸水状況



2017年は、利根川決潰
カスリーン台風から70年

※カスリーン台風では、堤防が切れて完全に崩れたため「決潰」の文字を使用しています。現在では「決壊」も同じ意味で使用されています。

昭和22(1947)年9月、カスリーン台風で利根川が決潰してから70年になりました

昭和22年9月のカスリーン台風による洪水は、明治・大正・昭和・平成の時代を通じて最大の洪水となり、未曾有の大水害となりました。特に埼玉県側では幅350mの大決壊となり、濁流が東京都江戸川区まで水没させる甚大な被害をもたらしました。

そのカスリーン台風から今年で70年になります。市では、水害の恐ろしさ、防災避難の重要性をあらためて認識していただくため、国や利根川流域の市町村等と連携して、さまざまな取り組みを行っていきます。

【問】 道路整備課(三和庁舎) ☎76-1511

水害被害を忘れないために

古河市を含む利根川上流流域の49市区町で「カスリーン台風70年実行委員会」を設置し、水害の恐ろしさを忘れないためにパネル展などで広報・啓発を行います。

河川のことをより理解するために

小・中学生を対象に、利根川についてより深く知ってもらうため、「こども利根川研究・活動発表会」を開催し、子どもたちの河川理解のきっかけづくりを行います。